歌舞伎とおしゃべりの会 10月の会

vol.3



悩める古典



歌舞伎や能楽の演目を中心に

仕事、恋愛、家族、人間関係、老い・・・私たちの周りにあるそのお悩み、実は昔の物語にも描かれています。

この講座では、古典の魅力を知り尽くした木ノ下裕一さんに、現代のお悩みに通じるさまざまな古典演目をご紹介いただきます。

今回の講座では、前回に引き続き、古典の中に描かれる「悩み」についても、現代の視点から皆さまと一緒に考えてみたいと思っています。

古典と現代、両方の視点で考えることで、物語の新しい楽しみ方や発見があるかもしれません。古典芸能好きの方もそうでない方も、まずはお気軽にご参加ください！

お悩み募集中

当日取りあげる演目の一部は、みなさまのお悩みをもとに考えます。ぜひお悩みをお寄せください。

右のフォームから入力、
または裏面の専用用紙に
記入してご提出ください。

【講師】

木ノ下 裕一



木ノ下歌舞伎主宰
1985年和歌山市生まれ。
小学校3年生の時、上方落語を聞き衝撃を受けると同時に独学で落語を始め、その後、古典芸能への関心を広げつつ現代の舞台芸術を学ぶ。 2006年に古典演目上演の補綴・監修を自らが行う木ノ下歌舞伎を旗揚げ。代表作に『娘道成寺』『黒塚』『東海道四谷怪談ー通し上演ー』『義経千本桜ー渡海屋・大物浦ー』『糸井版 摂州合邦辻』など。2016年に上演した『勧進帳』の成果に対して、平成28年度文化庁芸術祭新人賞を受賞。第38回（令和元年度） 京都府文化賞奨励賞受賞。渋谷・コクーン歌舞伎『切られの与三』（2018）の補綴、NHK ラジオ第2『おしゃべりな古典教室』のパーソナリティーを務めるなど多岐にわたって活躍中。2024年からはまつもと市民芸術館（長野）の芸術監督団長を務めている。

令和8年 **10月25日**（日）

＊13時開場　＊途中休憩あり

13：30～16：30

会場：可児市文化創造センターala 映像シアター　未就学児入場不可

チケット：8月29日（土）9:00発売｜全席指定 1,000円

文化庁
文化庁文化芸術振興補助金
（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会

KANI PUBLIC ARTS CENTER ala

▼ チケット取り扱い

可児市文化創造センターala・インフォメーション
〒509-0203　岐阜県可児市下恵土3433-139
Tel.0574-60-3050
9:00-19:00　火曜休館／祝日の場合は開館・翌平日休み

▼ お問い合わせ

可児市文化創造センター-ala
〒509-0203　岐阜県可児市下恵土3433-139
URL https://www.kpac.or.jp　TEL.0574-60-3311
9:00-22:30　火曜休館／祝日の場合は開館・翌平日休み

▼ 公演ウェブサイト

【主催】（公財）可児市文化芸術振興財団　【協力】可児歌舞伎